

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年6月25日

都道府県知事
(市長)

福岡市長 殿

提出者

住 所 福岡市中央区天神四丁目3番30号

氏 名 福岡菱光株式会社

代表取締役 吉村太輔

電話番号 092-715-4591

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2024年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	福岡菱光株式会社福岡工場
事業場の所在地	福岡市東区東浜2丁目5番59号
事業の種類	窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

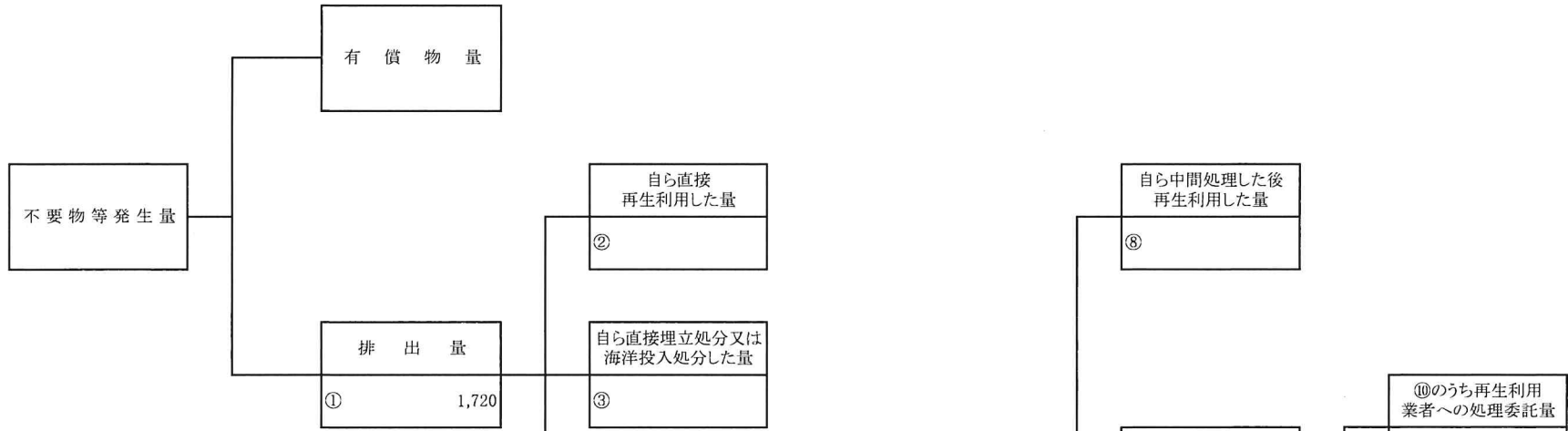
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,171 t	全処理委託量	2,171 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	優良認定処理業者への処理委託量	— t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	再生利用業者への処理委託量	2,171 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	認定熱回収業者への処理委託量	— t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t

※事務処理欄



計画の実施状況

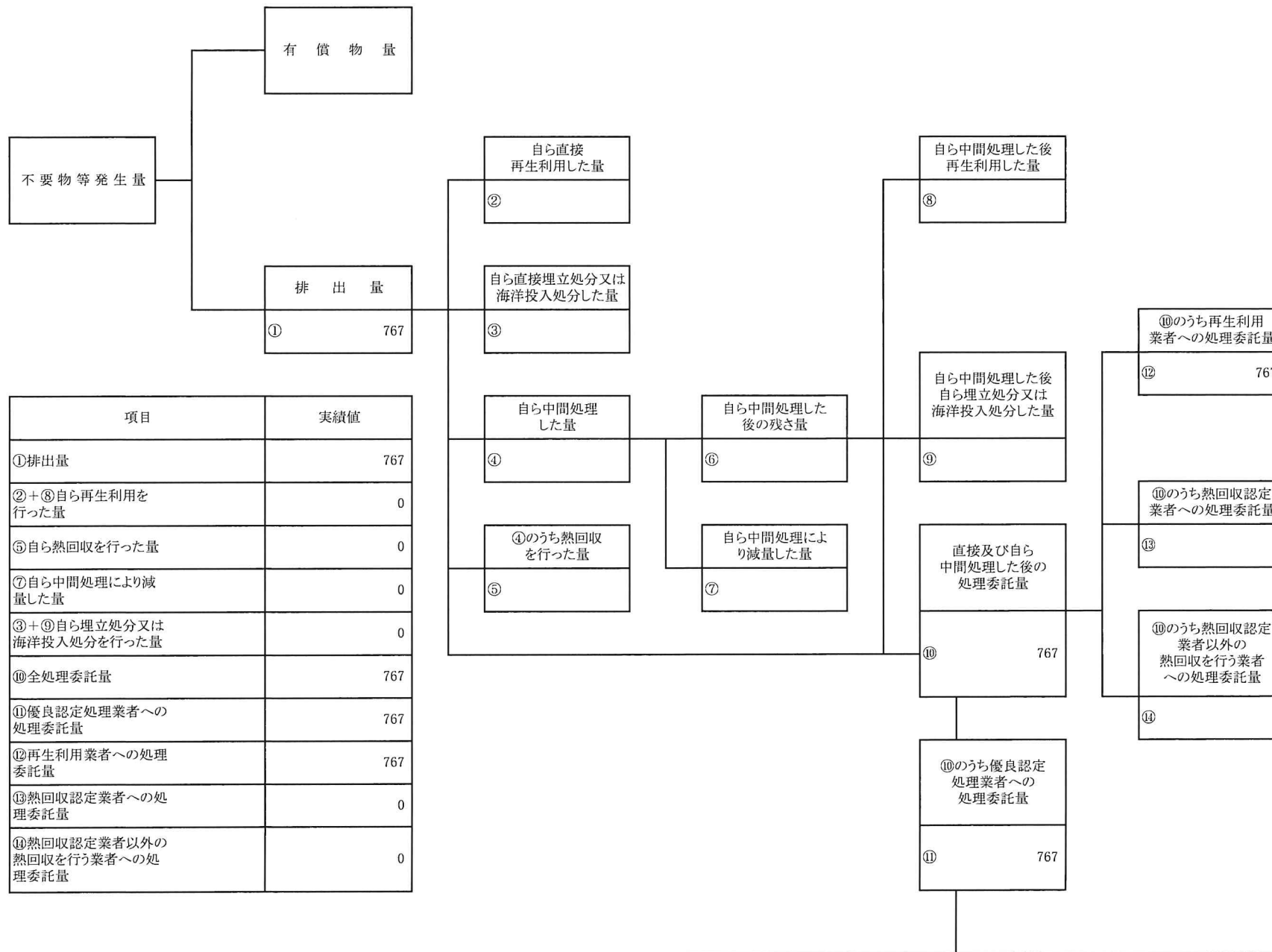
(産業廃棄物の種類: ガラスくず及び陶磁器くず)



項目	実績値
①排出量	1,720
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1,720
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,720
⑫再生利用者への処理委託量	1,720
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年6月25日

都道府県知事
(市長)

福岡市長 殿

提出者

住 所 福岡市中央区天神四丁目3番30号

氏 名 福岡菱光株式会社

代表取締役 吉村太輔

電話番号 092-715-4591

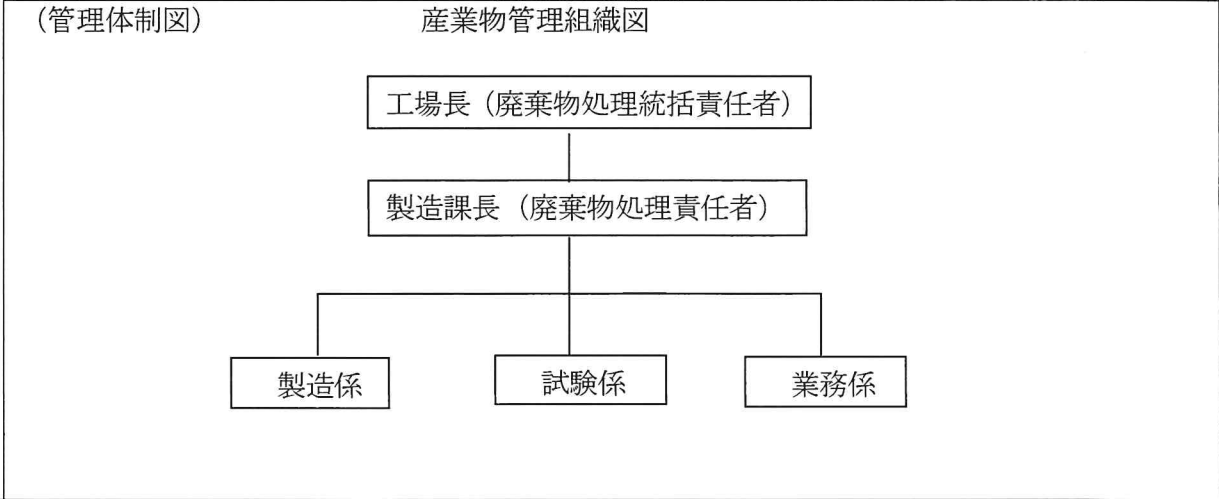
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	福岡菱光株式会社福岡工場
事業場の所在地	福岡市東区東浜2丁目5番59号
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 449百万円
③ 従業員数	7名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	発生場所→処分業者委託→路盤材等に再生



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (2024年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	汚泥
	排 出 量	1,720 t	767 t
	(これまでに実施した取組) 計画的納入		
② 計画	【目標】2024年度実績より、1割削減		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	汚泥
	排 出 量	1,548 t	690 t
	(今後実施する予定の取組) 適正数量を把握した計画的納入		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ガラスくず及び陶磁器くず：コンクリートくずが主体。
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートくずが主体なので、他の廃棄物が混入しないように管理する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】 注1 無機		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	汚泥
	全処理委託量	1,720 t	767 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,720 t	767 t
	再生利用業者への処理委託量	1,720 t	767 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用者に委託し廃棄物を減量する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	汚泥
	全処理委託量	1,548 t	690 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	1,548 t	690 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 戻りコンクリートの再利用		
※事務処理欄			